

# 「協会員＝士会員」実現の ための検討経過について

2024年5月25日

# 「協会員＝士会員」を目指した1年間の経過

1. 「会員の個人情報の取り扱いに関する覚書（改訂版）」の締結および会員情報の突合作業
2. 「協会員＝士会員」実現のための方策と工程表（修正案）
3. 「協会員＝士会員」を実現する士会システム改修のための要件確認
4. 今年度計画

# 覚書締結および会員情報の突合作業 の状況

- 「会員の個人情報に関する覚書（改訂版）」
  - 覚書の締結済み士会：44士会
  - 残り3士会も締結に向けて調整中
- 会員情報の突合作業（5月16日現在）
  - 突合作業完了：42士会
  - データ提供依頼連絡済み：2士会
  - 突合作業実施中：1士会
  - データ提供依頼未実施：2士会
- 突合作業実施による、両団体の加入率について
  - 士会会員の協会入会率：平均92.6%
  - 協会会員の士会入会率：平均80.4%

# 「協会員＝士会員」実現のための方策 と工程表（修正案）

## • 修正案の策定

- 12月理事会に方策と工程表の最終的な修正案、定款・定款施行規則・会費等に関する規程の改定案等を審議上程し、承認された。
- 機関誌2月号に方策と工程表（修正案）を方策のポイントを挙げて掲載。

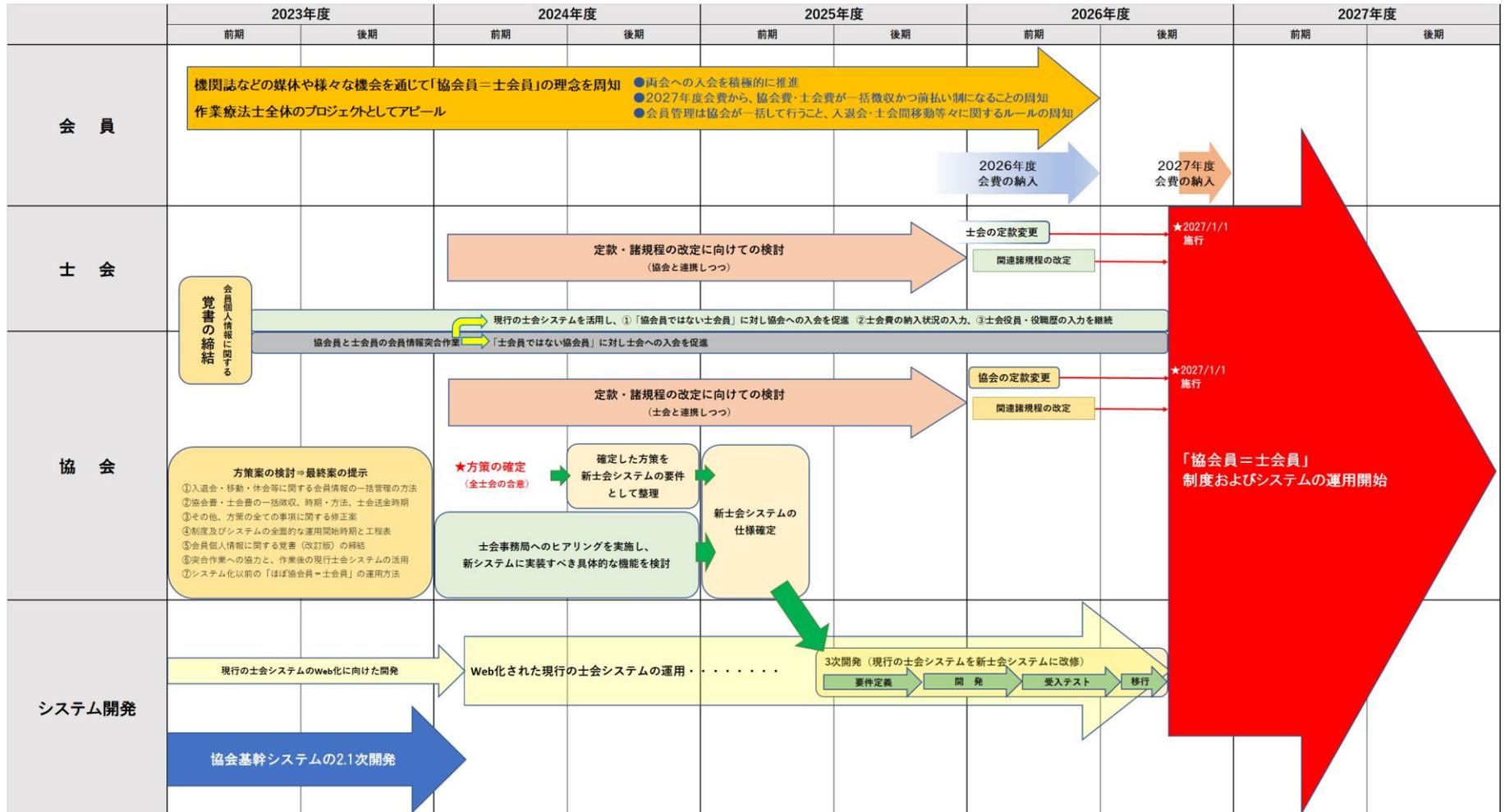
## • 士会への発出および回答の依頼

- 12月末に方策と工程表（修正案）、その他の文書を全士会に発出
- 回答書の返信状況 26士会（5月21日現在）
- 検討中 8士会                      未回答 13士会

# 「協会員＝士会員」実現に向けたスケジュール(改定)

## 【基本方針】

- 新システムは、47士会が同時に運用開始できることが前提(可能な士会から順次参画する等の方法は困難)
- このスケジュール(案)は、2024年度前半に全士会の合意が得られることを前提にした最短ライン



# 回答書に記載された士会意見

- 方策（修正案）への意見
- 回答された士会の付与されたほとんどの意見に、2027年の開始予定をこれ以上遅らせないことが挙げられている。
- 会員への丁寧な説明と情報公開
- イコールでない会員への対応（継続的な入会促進）
- その他 運用上の懸念の意見  
新人会員への経済的配慮

# 「協会員＝士会員」を実現する士会システム改修のための要件確認

- 方策が確定していないため、要件確認の工程に進むことができていない。
- 委員会としては、方策と工程表の最終的な修正案の検討過程でシステム改修を見据えた議論を実施した。

# 「協会員＝士会員」を実現のための 2024年度活動計画

1. 現行士会システムの都道府県作業療法士会における運用を支援し促進すること
2. 都道府県作業療法士会との合意書の取り交わしに向けて必要な調整を実施すること
3. 士会システム3次開発に向けた要件確認および仕様検討をすること
4. 必要となる協会および士会の定款変更、諸規程の新設・改定について検討を進めること
5. その他、必要なこと